



新富小だより

令和8年
9月30日発行

No.6



大切なわが子を災害から守るために ～「もしも」に備え、家庭の防災力を高める～

旭川市立新富小学校
校長 工藤 真

早いもので、2学期が始まって1か月が過ぎました。子供たちは、日々の学習や学校生活に加え、これから予定されている学芸会に向けても、それぞれが目標をもちながら準備や練習に取り組んでいます。

さて、9月1日は「防災の日」でした。毎年この時期には、全国各地で防災に関する取組が行われています。本校でも、9月1日は水害を想定した「垂直避難訓練」、9月8日は交通事故防止のために「ダミー実験教室」、24日は不測の事態に対応するための「お迎え下校訓練」等、様々な危機管理に対する取組を進めています。本州では、地震や水害等で多くの被害が出ています。また直近では、9月12日に十勝岳の噴火警戒レベルが3に引き上げられるなど、私たちが暮らす北海道においても、災害を決して「遠いところの出来事」と考えることはできません。

地震、大雨、洪水、土砂災害、火山噴火、そして冬の大雪など、災害はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ大切なのは、「災害が起きたらどうするか」を、起きてから考えるのではなく、平常時から家族で考え、備えておくことです。

学校では、避難訓練や防災に関する学習などを通して、子供たちが災害発生時に自分の命を守るための行動を身に付けられるよう取り組んでいます。しかし、学校での取組だけで防災意識を高めることはできません。子供たちが実際に災害に遭遇するのは、学校にいるときとは限らないからです。そこで、ぜひこの機会に、ご家庭でも「もし、今、大きな地震が起きたら?」「大雨で避難が必要になったら?」「家族が別々の場所にいたら?」といったことを話題にしてみてください。防災について家族で話すことは、単に非常食や防災グッズを準備することだけではありません。「自分の命を自分で守る」ために、子供自身が考え、判断し、行動する力を育てることにもつながります。以下、家庭で確認しておきたい「防災の5つのポイント」です。

- ① 自宅周辺の危険を知る～ハザードマップを家族で確認
- ② 避難場所・避難経路を確認する～「どこへ避難するのか、どの道を通るのか」を確認
- ③ 家庭の備蓄を見直す～1週間分程度を目安に備える
- ④ 家族の連絡方法を決めておく～「誰に連絡するのか、どこに集合するのか」等を確認
- ⑤ 「自分の命は自分で守る」ことを話し合う～子供自身が考え、行動できるように確認

災害への備えは、特別なことを始める必要はありません。家族で上記のことを確認するなど、こうした小さな取組の積み重ねが、いざというときの大きな力になります。

学校と家庭がそれぞれの立場で防災について考え、子供たちに「自分の命を自分で守る力を育てていくこと」が、私たち大人にできる大切な防災教育の一つではないでしょうか。大切な新富っ子の命を守るために、学校と家庭、そして地域が力を合わせて、日頃から「もしも」に備えていきたいと思います。ご家庭でも、ぜひこの機会に、お子さんと防災について話す時間をつくっていただければ幸いです。

【国語】

- 「学年配当漢字の正しく適切な使用」や「話の構成」「文章の特徴の把握」「比喻などの表現の工夫とその効果」を捉える項目の正答率が高かったです。また、全ての問題形式において、無回答率が全国・全道平均より低く、最後まで粘り強く問題に取り組む姿が見られました。
- ▼複数の情報を関係付けて「自分の考え」と「その根拠」を結び付けて捉えたり、引用のルールや指定された条件に従って文章を書いたりすることに課題が見られました。
- 今後の授業改善:授業の中では、図や表・資料等の複数の情報を関連付けて要旨を捉える学習を充実させるとともに、「考え+根拠(事実)」をセットで説明・記述する活動を日常的に取り入れていきます。また、書き終えた後に「条件を満たしているか」を自ら確かめて修正する習慣づくりを進めていきます。

【算数】

- 「十進位取り記数法の仕組みの理解」や「基本公式を用いた立方体の体積の計算」「示された情報を基に時間を算出する項目」など、既習の知識・技能を活用して問題を解決する力が概ね身に付いています。
- ▼「二次元の表の読み取り」や「割合等の複数の情報を正確に読み取って数量の意味を捉えること」「求め方や判断の根拠を数や言葉を使って説明すること」に課題が見られました。
- 今後の授業改善:授業の中では、図や表・数直線などの情報を関連付けて数量の意味を考える学習を充実させるとともに、「なぜその式になるのか」「どのように考えたのか」を数学的な表現を用いて説明する活動を習慣化していきます。さらに、答えを出した後に「この答えでよいか」を自ら確かめる見直しの指導を徹底していきます。

【児童質問紙】

- 調査結果から、「いじめはいけないことだという認識」、「休日に1時間以上勉強している」、「授業におけるICT機器の使用頻度や技能面の定着」は全国と比較して肯定的な回答率が高い傾向にあります。また、「国語や英語が得意・好き」と回答する割合も高いです。
- ▼「SNSや動画視聴を1日3時間以上している」、「将来の夢や目標をもっている」、「話し合いを通じて考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができている」といった内容の質問に対して肯定的な回答率が低い傾向も見られました。
- 今後の取組改善:平日の家庭学習や読書の時間を増やし、「電子メディアに触れる時間を意図的に減らしたりコントロールできたりする取組(アウトメディア)」や行事等で「目標の設定と振り返りを重視した取組」の充実を図っていきます。

9月教育活動紹介



ご協力ありがとうございました

3年生PTA
学年レク

PTAガラス拭き
全校参観日

SNSに関する出前講座
(4~6年)

SNSの危険性や正しい使い方を学びました。

10月行事予定

浸水被害を想定し、3階への避難を訓練しました。

避難訓練(垂直避難)

自動車の
死角や内輪
差について
学びました。

ダミー実験教室
(交通安全教室)

持久走記録会
(全学年)

成長を確認する機会に



令和8年度も半分が終わり、年度の折り返し地点となりました。30日(水)に、「前期通知表」を配付いたしました。お子様のよりよい成長に役立つように、良い点を認め、励ますための資料として、活用いただければと思います。

前期の学校生活を親子一緒に振り返る機会とするとともに、「自分の得意なことは更に伸ばす」、「苦手なことは諦めずに、一つ一つできるようにする」など、学年のゴールに向けて意識を高める機会にさせていただけるとありがたいです。

- 1日(木) 朝の街頭指導 学芸会会場設営
二計測・視力検査(4・5・6年)
- 2日(金) 二計測・視力検査(1・2・3年)
いじめ防止対策会議
- 5日(月) 避難訓練③ 委員会⑦
- 6日(火) 旭川市教育研究大会(臨時休業日)
※6年2組 研究授業(算数)のため登校
- 7日(水) 朝の広場 学芸会特別時間割開始
- 9日(金) 【通常日課】
- 13日(火) 【通常日課】 3年人権教育
- 14日(水) 学芸会係活動① スクールカウンセラー来校
- 16日(金) 【通常日課】 下校指導
- 19日(月) 学芸会係活動②
- 20日(火) 【通常日課】
- 21日(水) 【5時間授業】学芸会児童公開日
お弁当の日
- 23日(金) 【通常日課】学芸会係活動③ 前日準備
- 24日(土) 学芸会
- 26日(月) 振替休業日
- 27日(火) 【特別日課】学芸会後片付け(5・6年)
- 28日(水) 【特別日課】教育相談①
- 29日(木) 【特別日課】教育相談②
- 30日(金) 【特別日課】新1年生就学時健康診断